



# 風



## 令和7年度 教育活動に関するアンケート（学校評価）結果について

初春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年末にご協力をいただきました「教育活動に関するアンケート」では、貴重なご意見をいただき心より感謝申し上げます。結果がまとまりましたので、下記のとおりお知らせいたします。職員一同、結果を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かすよう努力していく所存です。1月30日の第2回学校評議員会におきまして、今回の学校評価の結果を踏まえ、次年度に向けた本校の課題や改善点についてご報告させていただきます。今後とも保護者の皆様には、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

### 1 学校評価の実施について

- 実施時期 11月
- 対象 蘇我小学校全児童、全保護者、全教職員、全学校評議員

### 2 学校教育目標について

学校教育目標 …「学ぶ愉しさを知り、なかよく、ねばり強い子供の育成」

— 土の子 風の子 太陽の子 —

- めざす子ども像…土の子 確かな学力を身に付けた子（知）
- 風の子 心と体を自ら鍛え、たくましい子（体）
- 太陽の子 温かく、思いやりのある子（徳）

**重点** じっくり あいさつができる そがっこ

めざす学校像（児童） …わくわく登校、いきいき活動、にこにこ下校

### 3 アンケート結果から

#### (1) 肯定的な回答（そう思う・ややそう思う）から

- 「きまりを守って生活をしている」の項目では児童・保護者・教職員の85%以上が肯定的な回答をしている。学校が安全・安心な場所であり、生徒指導上の問題に組織として取り組んでいる結果だと考えられる。また、「自分から挨拶をしている」の項目においては児童・保護者・教職員ともに昨年度よりも数値が上がっている。学校の取り組みとして、今年は進んであいさつできる児童になれるよう取り組んできた。その成果が少しずつ現れてきているとともに、家庭でも同様に声かけをしてくれている結果であると考えられる。児童が安心して笑顔で過ごせるよう、児童一人一人の個性を生かしたきめ細やかな教育を行っていくことが重要であると考えられる。

#### (2) 否定的な回答（あまり思わない・思わない）から

- 「自分の思いや考えをわかりやすく伝えている」では、児童25%、保護者36%、教職員46%が否定的な回答をしており、全項目の中で最も高い数値の一つである。令和6年度も同様の傾向が見られたことから、学習活動の中で自分の思いや考えを伝える機会や場面を意図的に増やししながら学習計画を立てていく必要がある。また、近年のICT化をうまく活用し、自分の思いや願いを様々な方法で表すことができるよう工夫していく必要がある。

#### (3) 全体的な回答から

- 学校評価の数値を見る限りでは、各項目において令和6年度と大きな変化はなく、状態が安定しているとも、固定化しているとも言える。よりよい方向への変化を促進するためには、児童が「できた」という達成感や「やってみよう」という好奇心をよきもてるようにすることが大切である。児童の学びをより深め、興味・関心が持てるよう、体験活動や交流活動の積極的な実施や教育計画の工夫をしていく必要がある。そして、学校・家庭・地域が連携して同じ目標に向かって進んでいけるよう、情報発信を積極的に行っていくことが重要であると考えられる。

# <令和7年度 学校評価>

■ そう思う

▨ ややそう思う

□ あまり思わない

□ 思わない

0% 20% 40% 60% 80% 100%

